

レベルⅠ: 看護教育機関を卒業して初めて就労する看護職員であり、職場の指導や教育を受けながら看護実践を行うことができる
 レベルⅡ: 新人看護職員研修を修了し、今までの経験を振り返り学びを深めながら看護実践を行うことができる
 レベルⅢ: 自己の経験について評価し、担当する患者を通して看護観を養いながら看護実践を行うことができる
 レベルⅣ: 自己の経験から後輩指導ができ、優れた看護実践ができる
 レベルⅤ: 所属単位において卓越した看護を実践し、組織的に広範囲な役割を遂行できる

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ	
看護の核となる実践能力	定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別化看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	
	ニーズを捉える力	目標	助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえてニーズをとらえる
		行動目標	□助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる	□自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる	□ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性を踏まえ必要な情報収集ができる	□予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる	□複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる
		行動目標	□ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる	□得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	□得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	□意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	□ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
	ケアする力	目標	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実施する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
		行動目標	□指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる	□ケアの受け手の個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる	□ケアの受け手の個性に合わせて、適切なケアを実践できる	□ケアの受け手の顕在・潜在的なニーズに応えるため幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる	□ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追及できる
		行動目標	□指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる	□ケアの受け手に対してケアを実施する際に必要な情報を得ることができる	□ケアの受け手の顕在・潜在的ニーズを察知し、ケアの方法に工夫ができる	□幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的及び予防的に看護実践ができる	□複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	まわりと協働する力	目標	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者・多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように多職種の力を引き出し連携に活かす
		行動目標	□助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる	□ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれ積極的に情報交換ができる	□ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる	□ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる	□複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる
		行動目標	□助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる	□関係者と密にコミュニケーションを取ることができる	□ケアの受け手とケアについて意見交換ができる		
行動目標		□助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる	□看護の展開に必要な関係者を特定できる	□積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	□多職種間の連携が機能するように調整できる	□多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる	
行動目標		□ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる	□看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる		□多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	□関係者・多職種間の中心的役割を担うことができる	
行動目標		□連絡・報告・相談ができる				□目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる	
意思決定を支える力	目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる	
	行動目標	□助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	□ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる	□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる	□ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	□適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる	
	行動目標	□確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる		□ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる		□法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる	
行動目標			□ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる				

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
目標		指導を受けながら、看護職員として必要な基本的姿勢と態度を身に付ける	看護職員として必要な基本的姿勢と態度を身に付ける	その日のリーダー、夜勤リーダー、サブリーダーの役割を通して、基本的姿勢や態度を振り返り学びを深める行動に繋げる	チームリーダー、採用者指導などの役割を果たすことで基本的姿勢や態度を振り返り学びを深め行動に繋げる	あらゆる場面でリーダーとなって活躍し、専門職としての役割モデルを発揮する
		メンバーの役割を理解し、自ら指導・助言を求め看護者の役割を習得する	看護実践を通して看護を深める	症例カンファレンスなど多くの看護実践を通して自己の看護観を見出す	部署内の看護について評価し、改善策を提案する	部署内の看護について評価し、創造的な看護実践に取り組む
		指導を受けながら、科学的・法的根拠を理解し、チーム医療における自らの役割を認識した上で管理的側面を実施する	科学的・法的根拠を理解し、チーム医療における自らの役割を認識した上で管理的側面を実施する	管理的側面の実施について後輩を支援する	指導を受けながら、看護単位における管理的側面の課題を明確にし、目標を示しながら管理する	看護単位における管理的側面の課題を明確にし、目標を示しながら管理する
基本姿勢と態度	行動目標	□医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護することができる	□人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護することについて深めることができる	□人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護しながら実践できる	□患者の人権擁護について指導できる	□患者の人権擁護について評価し改善策が提案できる
		□守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮することができる	□自己の守秘義務を厳守する行動やプライバシーに配慮することについて考え深めることができる	□守秘義務を厳守する行動やプライバシーに配慮することで対象者と良好な関係作りができる	□守秘義務を厳守する行動やプライバシーに配慮することについて指導できる	□守秘義務を厳守する行動やプライバシーに配慮することの役割モデルを発揮しながら育成できる
		□指導を受けながら、病院及び看護部の理念、組織と機能について理解し行動できる	□病院及び看護部の理念、組織と機能について理解し行動できる	□理念、組織と機能に基づいた行動ができて自己評価できる	□病院及び看護部の理念、組織と機能について新入職員に説明できる	□部署内メンバーの理念に基づいた行動、組織と機能について応じた行動を評価し改善策が提案できる
		□指導を受けながら、チーム医療の構成員としての役割を理解し協働できる	□チーム医療の構成員としての役割を理解し協働できる	□チーム医療の構成員としての自己の役割を明確にし協働できる	□チーム医療の構成員としての各個人の役割を明確にし協働できるように指導できる	□部署内のチーム医療の構成員としての役割・協働状況について評価し改善策が提案できる
		□同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとることができる	□自己のコミュニケーション方法について振り返り、安定した適切な方法を検討できる	□指導を受けながらアサーティブコミュニケーション・ポジティブアプローチについて学び実践できる	□アサーティブコミュニケーション・ポジティブアプローチについて指導できる	□部署内のコミュニケーション方法について評価し改善策が提案できる
安全管理	行動目標	□施設における医療安全管理体制について理解できる	□指導を受けながら、安全管理対策に基づき行動できる	□安全管理対策に基づき行動できる	□安全管理対策に関する指導ができる	□部署内の安全管理対策について評価し改善策を提案できる
		□インシデント事例やアクシデント事例の報告を速やかに行うことができる	□自己のインシデント事例やアクシデント事例の報告を振り返り学びを深めることができる	□インシデント事例やアクシデント事例の報告が繰り返されないように行動できる	□インシデント事例やアクシデント事例の報告が繰り返されないように指導できる	□部署内のインシデント事例やアクシデント事例の報告について評価し改善策が提案できる
情報管理	行動目標	□プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱うことができる	□自己の医療情報や記録物の取り扱いについて振り返り、学びを深めることができる	□プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱うことについて自己評価できる	□医療情報や記録物の取り扱いについて指導できる	□部署内の医療情報や記録物の取り扱いについて評価し改善策を提案できる
		□指導を受けながら、看護記録の目的を理解し、正確に記録できる	□看護記録の目的を理解し、正確に記録できる	□担当する患者の看護記録を通して、自己評価と改善ができる	□部署内の看護記録を監査し改善策を提案できる	□部署内の看護記録の作成状況を監査し改良に向けた指導ができる
業務管理	行動目標	□業務の基準・手順に沿って実施できる	□業務基準・手順に沿った実施について振り返り学びを深めることができる	□業務基準・手順に沿った実施について自己評価できる	□業務基準・手順に沿った実施について指導できる	□部署内の業務の基準・手順に沿った実施について評価し改善策を提案できる
		□指導を受けながら、複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動できる	□複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動できる	□その日のリーダー、夜勤リーダー、サブリーダー業務を通してチーム内の業務調整ができる	□チームリーダーの業務を通して部署内の業務調整ができる	□様々なリーダー業務を通して部署内の業務調整ができる
		□業務上の報告・連絡・相談を適切に行うことができる	□業務上の報告・連絡・相談について振り返り学びを深めることができる	□業務調整などの管理を通して、報告・連絡・相談について自己評価できる	□業務上の報告・連絡・相談について指導できる	□部署内の業務上の報告・連絡・相談について評価し改善策を提案できる
		□指導を受けながら、決められた業務を時間内に実施できるように調整できる	□決められた業務を時間内に実施できるように調整できる	□自己の時間管理について評価し改善策を見出すことができる	□時間管理について指導できる	□部署内の時間管理について評価し改善策が提案できる
薬剤管理	行動目標	□指導を受けながら、薬剤を適切に請求・受領・保管できる(含、毒薬・劇薬・麻薬)	□薬剤を適切に請求・受領・保管できる(含、毒薬・劇薬・麻薬)	□薬剤(含、毒薬・劇薬・麻薬)管理方法について自己評価できる	□薬剤(含、毒薬・劇薬・麻薬)管理方法について指導できる	□薬剤(含、毒薬・劇薬・麻薬)管理方法について評価し改善策が提案できる
		□指導を受けながら、血液製剤を適切に請求・受領・保管できる	□血液製剤を適切に請求・受領・保管できる	□血液製剤の取り扱いについて自己評価できる	□血液製剤の取り扱いについて指導できる	□部署内の血液製剤の取り扱いについて評価し改善策が提案できる
災害・防災管理	行動目標	□指導を受けながら災害時対応マニュアルが理解できる	□災害発生時(地震・火災・水害・停電等)にはメンバーとしての自己の役割がイメージできる	□災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動が円滑にできるように、その日のリーダー業務を通してイメージトレーニングできる	□災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動が円滑にできるように、夜勤のリーダー業務を通してトレーニングできる	□災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動が円滑にできるように指導し、評価および改善策が提案できる
		□施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明できる	□患者への説明方法について振り返り学びを深めることができる	□患者への説明方法について自己評価できる	□患者への説明方法について指導できる	□部署内の患者への説明方法について評価し改善策が提案できる
物品管理	行動目標	□指導を受けながら、規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱うことができる	□規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱うことができる	□医療機器、器具の取り扱いについて自己評価できる	□医療機器、器具の取り扱いについて指導できる	□部署内の医療機器、器具の取り扱いについて評価し改善策が提案できる
		□指導を受けながら、看護用品・衛生材料の整備・点検を行うことができる	□看護用品・衛生材料の整備・点検を行うことができる	□看護用品・衛生材料の整備・点検について自己評価できる	□看護用品・衛生材料の整備・点検について指導できる	□部署内の看護用品・衛生材料の整備・点検について評価し改善策が提案できる
コスト管理	行動目標	□指導を受けながら、患者の負担を考慮し、物品を適切に使用できる	□患者の負担を考慮し、物品を適切に使用できる	□物品の適切な使用について自己評価できる	□物品の適切な使用について指導できる	□部署内の物品の適切な使用について評価し改善策が提案できる
		□指導を受けながら、費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択できる	□費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択できる	□衛生材料の適切な物品選択について自己評価できる	□衛生材料の適切な物品選択について指導できる	□部署内の衛生材料の適切な物品選択について評価し改善策が提案できる
自己教育・研究能力	目標	生涯にわたる主体的な自己学習の継続の基本を理解し学習活動ができる	自己の課題を明らかにし学習活動を進めながら看護実践に活用し、研究的視点でも課題発見できる	支援を受けながらキャリア計画に応じた学習を進め、看護実践を振り返りながら看護研究に参加することができる	キャリア計画に応じた学習を進め、看護実践を振り返りながら看護研究に参加することができる	キャリア計画に沿った学習や研究的視点でモデル的役割を果たすことができる
	行動目標	□自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題をみつけることができる	□自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題を深めることができる	□支援を受けながら、自己のキャリア計画を具体的にすることができる	□自己のキャリア計画に沿った課題を見つることができる	□自己のキャリア計画を明確にし実現に向け行動できる
		□指導を受けながら、学習の成果を自らの看護実践に活用できる	□学習の成果を自らの看護実践に活用できる	□支援を受けながら、看護専門職業人としての学びを職場内で実践できる	□看護専門職業人としての学びを職場内で実践できる	□看護専門職業人としての学びを職場内で実践しながらモデル的役割を示すことができる
		□指導を受けながら、セルフコントロールについても理解を深めることができる	□セルフコントロールについて、自己を振り返り改善方向に進むことができる	□セルフコントロールについて、他者と意見交換することで自己の傾向を理解し改善報告に進むことができる	□セルフコントロールについて、自己の成長を他者と語り合い助言者としても行動できる	□セルフコントロールについて、モデル的役割となり、職場により良い影響をもたらすことができる
	□指導を受けながら、研究的視点を持って看護実践の中で課題を見つけることができる	□研究的視点を持って看護実践の中で課題を見つけることができる	□支援を受けながら、研究的取り組みをチームで計画し実践することができる	□研究的取り組みに参加し、院内・院外で成果を発表することができる	□研究的取り組みの成果を看護の質向上のために臨床で応用し評価することができる	

* 日本看護協会 看護師のクリニカルリーダー、標準クリニカルリーダー、厚生労働省 新人看護師研修ガイドラインを参考に作成
2019. 11. 作成